

(地 188)

令和元年 8 月 1 4 日

被災者健康支援連絡協議会 構成団体
全日本病院協会 御中

日本医師会常任理事

石川 広己



令和元年度「災害医療救護通信エキスパート研修」の開催について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて今般、災害医療救護通信エキスパート育成協議会より本会宛に「災害医療救護通信エキスパート研修」の開催にかかる周知方依頼がありました。

本研修は、大規模災害時において、衛星携帯電話及び衛星データ通信をはじめとする各種無線機器等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成することを目的として、総務省の委託により災害医療救護通信エキスパート育成協議会（小職が参与に就任。事務局：公益社団法人日本無線協会）が開催するものです。

詳細につきましては、別添の受講者募集案内（上級レベル研修、標準レベル研修）をご参照ください。

つきましては、貴会会員等への周知方につき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

令和元年8月7日

公益社団法人 日本医師会 御中

災害医療救護通信エキスパート育成協議会

令和元年度「災害医療救護通信エキスパート研修」の
周知に関するご協力をお願いについて（依頼）

謹啓、貴会におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から、当協議会の事業に対し、多大なご支援をいただいておりますことに、改めて御礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり、当協議会では、医療関係者等に対して、大規模災害時において衛星携帯電話等の無線機器を適正かつ有効に取り扱うことができる人材の育成を目的として、平成29年度から「災害医療救護通信エキスパート研修」を実施しています。本年度で3年目になりますが、引き続き当該研修・訓練を実施することとなりました。

つきましては、貴会内及び関係機関等に本研修についてご周知いただきたくご依頼申し上げます。

なにとぞご協力をお願い申し上げます。

敬白

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局

公益財団法人 日本無線協会企画室 担当：武藤

電話：03-3533-5686

E-mail kikaku1@nichimu.or.jp

令和元年度 災害医療救護通信エキスパート育成事業実施計画

1 災害医療救護通信エキスパート育成事業とは

災害医療救護通信エキスパート育成事業に係る研修・訓練等（以下、「通信エキスパート研修」という。）は、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害時において、国民の生命・身体を守るために行われる医療・救護活動等を円滑に行うために必要とされる情報伝達の手段として使用される衛星携帯電話及び衛星データ通信をはじめとする各種無線機器等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成し、災害医療・救護活動等の維持を図り、被災者の医療活動等の支援に寄与することを目的とする総務省事業として、平成29年度から「災害医療救護通信エキスパート育成協議会（会長：相田仁 東京大学工学系研究科教授）」が実施しているものです。なお、本事業の事務は、総務省からの請負として公益財団法人日本無線協会が行っています。

2 レベル別の研修・訓練等の日程

本年度募集する通信エキスパート研修は、上級レベル研修、標準レベル研修及びオンラインの3区分とし、上級レベル及び標準レベル研修の修了者には認定証及び記章を交付します。また、オンライン研修の修了者には、修了証を交付します。

それぞれの日程及び会場は次のとおりです。なお、当該研修の受講料は無料です。

(1) 上級レベル研修（2日間研修）

回	実施日(令和元年)	研修会場	募集人数	申込期間
1	9月12日(木)～9月13日(金)	スカパーJSAT 横浜衛星管制 センター (神奈川県 横浜市)	30名	8月5日～8月21日
2	9月19日(木)～9月20日(金)		同上	8月5日～8月28日
3	10月3日(木)～10月4日(金)		同上	8月5日～9月1日
4	10月17日(木)～10月18日(金)		同上	8月5日～9月8日
5	10月24日(木)～10月25日(金)		同上	8月5日～9月16日

(注) 2日間にわたっての研修です。各回は同一内容です。

【上級レベルの目標】

衛星データ通信機器等の設営・メンテナンス及び操作の指導ができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識及び技能のうち、高度なもの(主に衛星データ通信に特化した内容)を習得する。

(2) 標準レベル研修（1日研修）

回	実施日(令和元年)	研修会場	募集人数	申込期間
1	9月30日(月)	総務省 情報通信政策研究所 (東京都国分寺市)	20名	8月5日～9月1日
2	10月1日(火)		同上	
3	11月5日(火)		同上	9月1日～9月30日
4	11月6日(水)		同上	
5	11月24日(日)		同上	9月1日～10月6日
6	11月25日(月)		同上	
7	12月17日(火)		同上	10月1日～10月31日
8	12月18日(水)		同上	

(注) 1日間の研修です。各回は同一内容です。

【標準レベルの目標】

衛星携帯電話等の機器を適正に操作・使用できるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる標準的な知識及び技能(主に衛星携帯電話による音声通話を中心とした内容)を習得する。

(3) オンライン研修

以下のサイトで随時受講できます（実技実習はありません）。

下記の gacco トップページから「gacco 新規会員登録」及び「ログイン」の上、受講コード「DCOME2019」を受講登録し、「災害医療救護通信エキスパート研修2019」を受講してください。（8月中旬に開講予定）

<http://gacco.org/>

【オンライン研修の目標】

衛星携帯電話等と携帯電話等との違いを理解することができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる基礎的な知識を習得する。

なお、上級又は標準レベル受講者は、予習のため、必ず事前に受講修了してください。

(4) 講師育成研修

上級又は標準レベル受講修了者を対象として選考いたします。一般公募は行いません。

3 受講科目、受講時間、受講資格

(1) 受講科目及び受講時間

受講区分	種別及び受講時間		受講内容
上級レベル (2日間研修)	座学	1.5時間	○非常災害時の通信確保の必要性・重要性 ○災害医療・救護活動において確保されるべき非常用通信手段に関するガイドライン ○非常用通信手段の種類と特徴、メリット・デメリット ○電波法制、電波システムの適正利用 ○機器の管理方法等
	実技 (屋外)	6時間	○衛星データ通信(VSAT等)の設置・操作、PCネット接続(Wi-Fiの設定を含む)及びアプリ操作(EMISへのログインまで) ○デジタル簡易無線の設定、通信操作
	能力認定試験	45分間程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)
標準レベル (1日研修)	座学	1.5時間	○上級レベルの内容についての基本的知識
	実技 (屋外)	3時間	○衛星携帯電話の設定・通信操作 ○デジタルMCA無線、デジタル簡易無線の設定、通信操作 ○衛星データ通信の操作、ネット接続(タブレット、スマホ)
	能力認定試験	30分間程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)

*受講時間は目安であり、研修状況等に応じて延長することがあります。

*実技に関する能力認定試験は、実技研修中に実施します。

*オンライン研修は、gacco ASP サイト上にアップロードされた資料で随時の受講になります。

(2) 受講資格

受講区分	受講資格(いずれかに該当する者)
上級レベル	○DMAT、JMAT、DPAT、日赤救護班等で、災害医療に1年以上の業務経歴を有する者 ○日本災害医学会認定災害医療ロジスティクス専門家として認定された者 ○地方公共団体(保健所、消防署を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者 ○災害医療関係者であって、上記と同等の知識を有する者 ○災害医療関係者であって、第二級陸上特殊無線技士国家資格を有する者又は第三級陸上特殊無線技士国家資格を有し1年以上の業務経歴を有する者
標準レベル	○災害医療関係者等であって、1年以上の業務経歴を有する者又は同等の知識を有する者 ○地方公共団体(保健所、消防署を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者 ○災害医療関係者等であって、第三級陸上特殊無線技士国家資格を有する者

*オンライン研修については、特に受講資格は必要ありません。(実技実習はありません。)

*なお、上級レベル研修は、できるだけ、標準レベル研修を受講修了されていることが望まれます。

4 申込方法

(1) 申込方法と申込期間

- 上級・標準レベルは、実施回毎に募集します。受講申込書に必要な事項を記載し、メール又はFAXで、下記提出先あて申込期間内にご提出ください。
- 申込期限までに定員に満たない場合は受付を継続します。
- なお、定員に大幅に満たない場合や、台風等荒天の場合など、急遽取りやめにすることがあります。
- 本協議会は受講者を決定し、全ての申込者に対して受講の「可否」を通知します。

(2) 提出書類

受講申込書の用紙は、関係機関等に送付しますが、公益財団法人日本無線協会のホームページからダウンロードもできます。

(3) 提出先

提出方法	メールアドレス/FAX番号
メール	e-uketuke@dcome0929.onmicrosoft.com
FAX	0225-92-8382

5 留意事項

- 屋外での長時間の実技実習がありますので、雨（必ず雨合羽）や寒さ、暑さ（帽子等）対策への服装をご準備ください。また、水分補給に心がけてください。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合は、早期の連絡をお願いします（電話 070-1002-9607）。
- 講習時間が不足すると能力認定試験が受けられなくなる可能性がありますので、研修・訓練の開始時刻に遅れないようご注意ください。
- 研修会場に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
- 研修会場内や近くに食堂・コンビニ等はありません。昼食については、事前に準備して、ご参加ください。
- 公益財団法人日本無線協会は、個人情報を含む申込書を他の目的に使用することはありません。

6 その他

通信エキスパート研修は、災害医療救護等に従事する者が大規模災害時において、通信連絡回線を確保するための通信技術のスキルアップを図ることで通信エキスパート人材を育成するものです。

公益財団法人日本無線協会では、この主旨を踏まえ、更なるスキルアップのため、無線従事者国家資格取得のための養成講習会を本部及び全国の支部において、有料で開催しております。

詳細は、当協会のホームページをご覧ください。

<http://www.nichimu.or.jp/>

【お問い合わせ先】

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局

公益財団法人日本無線協会 企画室(03-3533-5686) kikaku1(at)nichimu.or.jp

〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目3番3号江間忠ビル

令和元年度「通信エキスパート研修」受講者募集案内

～**上級レベル**研修(会場:スカパーJSAT・横浜衛星管制センター)～

[お問い合わせ先]

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局

公益財団法人日本無線協会企画室

電話:03-3533-5686 kikaku1(at)nichimu.or.jp

〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目3番3号 江間忠ビル

1 実施日及び募集人数

実施回	実施日(令和元年)	申込期間	募集人数
1	9月12日(木)～9月13日(金)	8月5日～8月21日	各回30名
2	9月19日(木)～9月20日(金)	8月5日～8月28日	
3	10月3日(木)～10月4日(金)	8月5日～9月1日	
4	10月17日(木)～10月18日(金)	8月5日～9月8日	
5	10月24日(木)～10月25日(金)	8月5日～9月16日	

*受講料は無料です。

*2日間にわたっての研修です。各実施回とも、同一の時間割、同一内容です。

*申込期間以外は受付できません。

*台風など荒天の場合等、急遽取りやめにすることがあります。

2 研修会場

スカパーJSAT 横浜衛星管制センター(屋内:座学、屋外:実技実習)

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 248-1

3 時間割

	時間	内容
1日目 (木曜日)	10:20	受付開始
	10:30～12:20	オリエンテーション、座学
	12:20～13:20	(昼食) ※お弁当等をご持参ください。
	13:20～17:20	実技実習(屋外)
2日目 (金曜日)	09:10～14:10	実技実習(屋外) 昼食時間含 ※お弁当等をご持参ください。
	14:20～16:00	座学に関する能力認定試験/修了式

*2日間にわたっての研修です。時間は目安であり、延長する場合があります。

*使用予定通信機器(変更になる場合があります。)

VSAT、ワイドスター、BGAN、デジタル簡易無線(登録局)

*実技に関する能力認定試験は、実技実習中に実施します。

4 受講資格

受講資格(いずれかに該当する者)
○ODMAT、JMAT、DPAT、日赤救護班等で、災害医療に1年以上の業務経歴を有する者
○日本災害医学会認定災害医療ロジスティクス専門家として認定された者
○地方公共団体(保健所、消防署を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者
○災害医療関係者であって、上記と同等の知識を有する者
○災害医療関係者であって、第二級陸上特殊無線技士国家資格を有する者又は第三級陸上特殊無線技士国家資格を有し1年以上の業務経歴を有する者

*標準レベル研修を修了していることは必須要件ではありませんが、できるだけ標準レベル研修を修了されていることが望まれます。

5 申込方法

受講の申込は、実施回毎に募集します。本募集案内に添付された申込用紙に必要事項を記載し、事務局(下記のメールアドレス又はFAX番号宛て)に、申込期間内にご提出して下さい。電話や郵送等による受付は行っておりません。

提出方法	メールアドレス/FAX番号
メール	e-uketuke@dcome0929.onmicrosoft.com
FAX	0225-92-8382

6 受講者の決定

本協議会は受講者を決定し、全ての申込者に対して受講の「可否」を、各実施回の申込期限経過後、速やかにメールで通知します。(受講資格及び業務経歴等により選考します。)

受講が決定しましたら、下記のオンライン上の「災害医療救護通信エキスパート研修2019」で必ず予習し、受講修了をしてください。下記の gacco のサイトで受講できます。下記の gacco トップページから「gacco 新規会員登録」及び「ログイン」の上、受講コード「DCOME2019」を受講登録して受講してください。(8月中旬に開講予定)

<http://gacco.org/>

7 注意事項

- 屋外での長時間の実技実習がありますので、雨(必ずカッパ)、寒さ、暑さ(帽子)対策への服装をご準備ください。また、水分補給に心がけてください。
- 講習時間が不足すると能力認定試験が受けられなくなる可能性がありますので、研修・訓練の開始時刻に遅れないようご注意ください。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合には、電話により早期の連絡をお願いします(電話 070-1002-9607)。
- 研修会場内や近くには食堂・コンビニ等がありません。事前に昼食を購入する等、ご準備をお願いします。
- 研修会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
- 当日の持ち物
 - ・ 筆記用具
 - ・ 記入済みの事前アンケート(用紙は、受講決定時にメールで送付します。)
 - ・ 実技実習で使用しますので、お持ちであれば Wi-Fi に接続できるノートパソコン又はタブレット、スマホをお持ちください。なお、パソコンの場合は Windows を Update しておいてください。
 - ・ 雨合羽(雨の場合)、帽子(晴天で暑くなる場合)
 - ・ 昼食のお弁当等
 - ・ 過去に上級または標準レベル研修を受講された方は、テキスト(座学編・実技編)のご持参をお願いいたします。

8 その他

公益財団法人日本無線協会では、通信エキスパートの更なるスキルアップのため、無線従事者国家資格取得のための養成講習会を本部及び全国の支部において、有料で開催しております。

詳細は、当協会のホームページをご覧ください。

<http://www.nichimu.or.jp/>

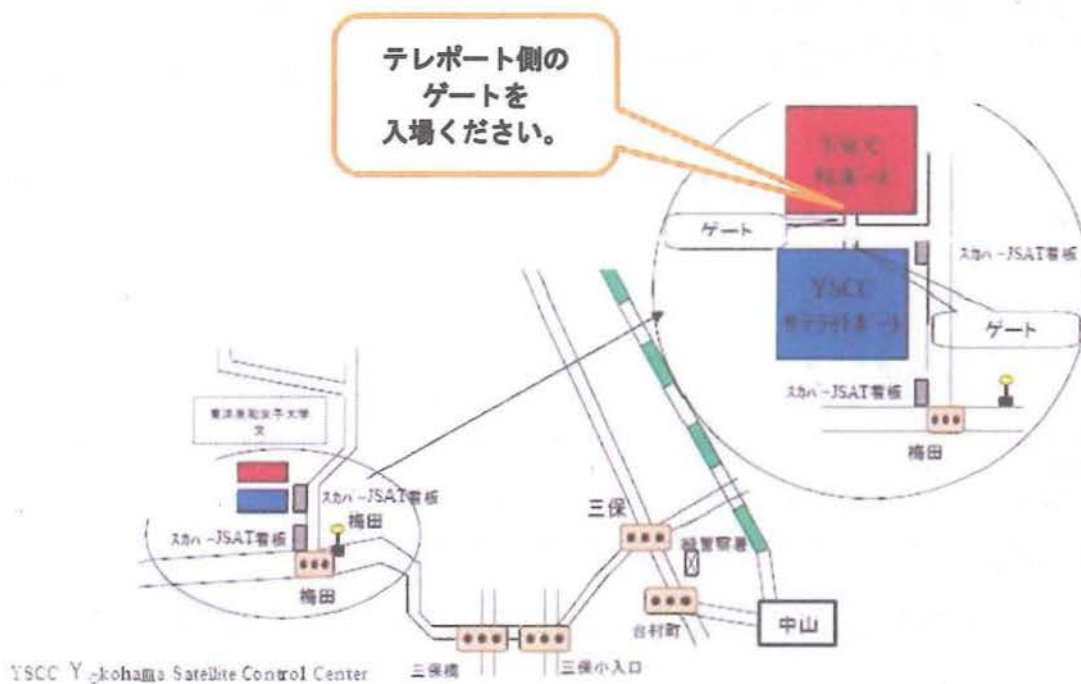
研修会場のご案内

【会場】

- スカパーJSAT 横浜衛星管制センター テレポート 屋内、屋外
〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町 248-1

【交通アクセス】

- JR横浜線「中山駅」下車 南口バス乗り場1から、神奈川中央交通「横 52 横浜駅西口行き」又は「中 53 鶴ヶ峰駅行き」に乗車15分、「梅田バス停」下車徒歩5分



令和元年 月 日

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 会長 殿

令和元年度 通信エキスパート研修 受講申込書

～ 上級レベル研修(スカパーJSAT横浜衛星管制センター会場) ～

次のとおり、通信エキスパート研修（上級レベル）を受講したいので申し込みます。

ふりがな 氏名		性別	男 ・ 女	生 年 月 日	昭和	年	月	日
					平成			
	個人メールアドレス	@						
住所	〒	電話番号	固定： - -					
			携帯： - -					
研修中の緊急連絡先	氏名(続柄)	()			電話： - -			
勤務先	名称 (地方公共団体の場合は部署名まで記入)				職種(事務職、医師、看護師など)			
	所在地 〒							
	電話番号： - -							
	FAX 番号： - -							
	勤務先メールアドレス	@						
受講希望日 2日間研修です。 (○で囲む)	・9/12(木)-13(金)		・10/3(木)-4(金)		・10/24(木)-25(金)			
	・9/19(木)-20(金)		・10/17(木)-18(金)					
受講資格※ (○で囲む)	① ② ③ ④ ⑤							
業務経歴等 (必須記入)	(上記受講資格に係る業務経歴のほか、所属チーム等(例:DMAT〇〇〇)、災害派遣歴等を記載してください。)							
勤務先の衛星系通信設備の種別・型式 (配備している、配備予定の場合)								
広域災害救急医療情報システム(EMIS)のログイン用ID、パスワードの有無							有 ・ 無	
所属する都道府県等のJ-SPEEDのログイン用ID、パスワードの有無							有 ・ 無	

※ 下表から該当する受講資格を選択してください。(複数選択可)

受講資格
①DMAT、JMAT、DPAT、日赤救護班等で、災害医療に1年以上の業務経歴を有する者
②日本災害医学会認定災害医療ロジスティクス要員として認定された者
③地方公共団体(保健所、消防署を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者
④災害医療関係者であって、上記と同等の知識を有する者
⑤災害医療関係者であって、第二級陸上特殊無線技士国家資格を有する者又は第三級陸上特殊無線技士国家資格を有し1年以上の業務経歴を有する者

令和元年度「通信エキスパート研修」受講者募集案内

～標準レベル研修(会場:総務省情報通信政策研究所)～

【お問い合わせ先】

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局
 公益財団法人日本無線協会企画室(03-3533-5686)
 電話:03-3533-5686 kikaku1(at)nichimu.or.jp
 〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目3番3号 江間忠ビル

1 実施日及び募集人数

実施回	実施日(令和元年)	申込期間	募集人数
1	9月30日(月)	8月5日～9月1日	各回20名
2	10月 1日(火)		
3	11月 5日(火)	9月1日～9月30日	
4	11月 6日(水)		
5	11月24日(日)	9月1日～10月6日	
6	11月25日(月)		
7	12月17日(火)	10月1日～10月31日	
8	12月18日(水)		

*受講料は無料です。

*1日間の研修です。各実施回とも、同一の時間割、同一内容です。

*申込期限までに定員に満たない場合は受付を継続しますので、お問い合わせください。

*定員に大幅に満たない場合や、台風など荒天等の場合は、急遽取りやめにする場合があります。

2 研修会場

総務省情報通信政策研究所(2階教室:座学、中庭:実技実習)
 〒185-8795 東京都国分寺市泉町2丁目11番16号

3 時間割

時間	内容
09:10	受付開始
09:30～12:40	オリエンテーション、座学
12:40～13:30	(昼食) ※お弁当等をご持参ください。
13:30～16:15	実技実習(屋外)
16:15～18:00	座学に関する能力認定試験/修了式

*時間は目安であり、延長する場合があります。

*使用予定通信機器(変更になる場合があります。)

イリジウム、スラヤ、ワイドスター、BGAN、デジタルMCA無線、デジタル簡易無線(登録局)

*実技に関する能力認定試験は、実技実習中に実施します。

4 受講資格

受講資格(いずれかに該当する者)
○災害医療関係者等であって、1年以上の経歴を有する者又は同等の知識を有する者
○地方公共団体(保健所、消防署を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者
○災害医療関係者等であって、第三級陸上特殊無線技士国家資格を有する者

5 申込方法

受講の申込は、実施回毎に募集します。本募集案内に添付された申込用紙に必要事項を記載し、事務局(下記のメールアドレス又はFAX番号宛て)に、申込期間内にご提出して下さい。電話や郵送等による受付は行っておりません。

提出方法	メールアドレス/FAX番号
メール	e-uketuke@dcome0929.onmicrosoft.com
FAX	0225-92-8382

6 受講者の決定

本協議会は受講者を決定し、全ての申込者に対して受講の「可否」を、各実施回の申込期限経過後、速やかにメールで通知します。

受講が決定しましたら、下記のオンライン上の「災害医療救護通信エキスパート研修2019」で必ず予習し、受講修了をしてください。下記の gacco のサイトで受講できます。下記の gacco トップページから「gacco 新規会員登録」及び「ログイン」の上、受講コード「DCOME2019」を受講登録して受講してください。(8月中旬に開講予定)

<http://gacco.org/>

7 注意事項

- 屋外での長時間の実技実習がありますので、雨(必ずカッパ)、寒さ、暑さ(帽子)対策への服装をご準備ください。また、水分補給に心がけてください。
- 研修会場内及び近くには食堂・コンビニ等がありません。事前に昼食を購入する等、ご準備をお願いします。屋内教室での飲料はペットボトルの水だけです。事前にご持参ください。
- 講習時間が不足すると能力認定試験が受けられなくなる可能性がありますので、研修・訓練の開始時刻に遅れないようご注意ください。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合には、電話により早期の連絡をお願いします(電話 070-1002-9607)。
- 研修会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
- 当日の持ち物
 - ・筆記用具
 - ・記入済みの事前アンケート(用紙は、受講決定時にメールで送付します。)
 - ・実技実習で使用しますので、お持ちであれば、Wi-Fi に接続できるタブレット又はスマホをお持ちください。
 - ・飲み物(屋内教室内ではペットボトル入りの水だけになります。)
 - ・社員証等身分証明となるもの(研修会場内では身に付けていただきます。)
 - ・雨合羽(雨の場合)、帽子(晴天で暑くなる場合)
 - ・昼食のお弁当等
 - ・過去に上級または標準レベル研修を受講された方は、テキスト(座学編・実技編)のご持参をお願いいたします。

8 その他

公益財団法人日本無線協会では、通信エキスパートの更なるスキルアップのため、無線従事者国家資格取得のための養成講習会を本部及び全国の支部において、有料で開催しております。

詳細は、当協会のホームページをご覧ください。

<http://www.nichimu.or.jp/>

研修会場のご案内

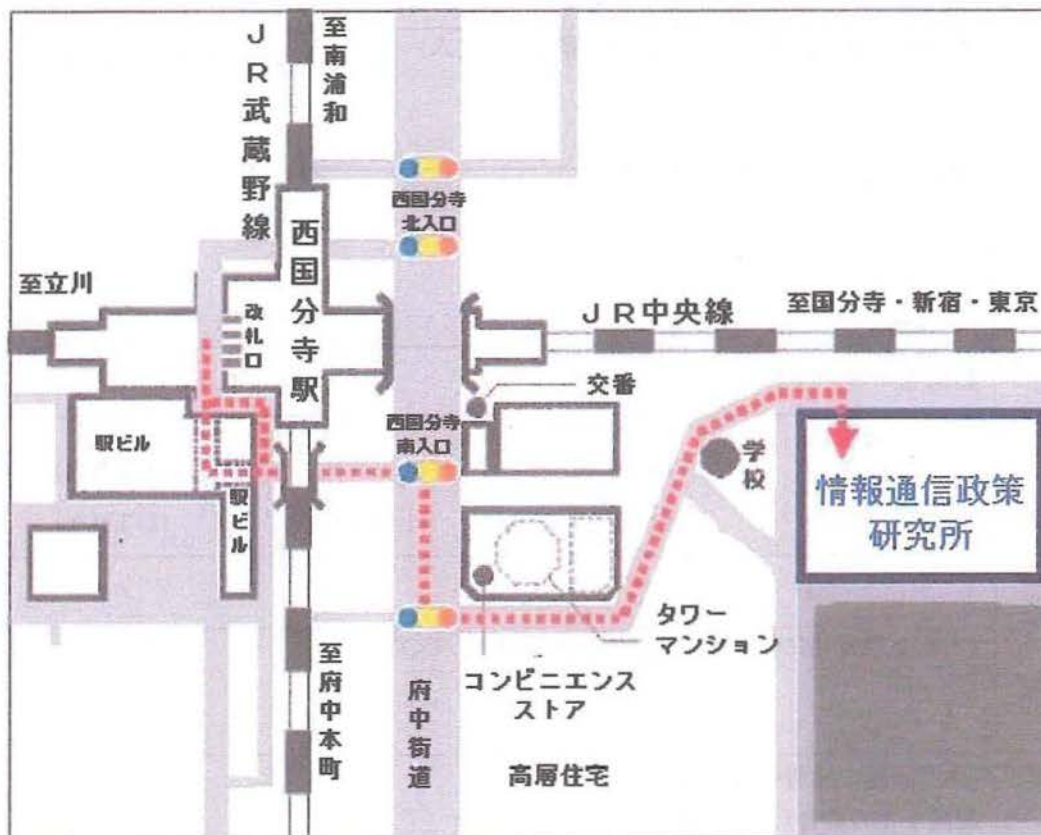
【会場】

- 総務省情報通信政策研究所 2階教室(座学)、中庭(実技実習)

〒185-8795 東京都国分寺市泉町2丁目11番16号

【交通アクセス】

- JR中央線・武蔵野線「西国分寺」駅より徒歩10分



令和元年度の研修・訓練の実施日程及び実施施設・場所

回	募集対象	上級レベル (衛星テ-)	標準レベル (衛星携帯)	開催日	募集期間	実施施設・場所
1	全国	30名		9月12日(木)~9月13日(金)	8月5日~8月21日	スカパーJSAT・横浜衛星管制センター (神奈川県横浜市緑区)
2	全国	30名		9月19日(木)~9月20日(金)	8月5日~8月28日	
3	全国		各回 20名	9月30日(月)	8月5日~9月1日	総務省・情報通信政策研究所 (東京都国分寺市)
4				10月1日(火)		
5	全国	30名		10月3日(木)~10月4日(金)	8月5日~9月1日	
6	全国	30名		10月17日(木)~10月18日(金)	8月5日~9月8日	スカパーJSAT・横浜衛星管制センター (神奈川県横浜市緑区)
7	全国	30名		10月24日(木)~10月25日(金)	8月5日~9月16日	
8	全国		各回 20名	11月5日(火)	9月1日~9月30日	総務省・情報通信政策研究所 (東京都国分寺市)
9				11月6日(水)		
10	全国		各回 20名	11月24日(日)	9月1日~10月6日	
11				11月25日(月)		
12	全国		各回 20名	12月17日(火)	10月1日~10月31日	
13				12月18日(水)		

注 ・定員に満たない場合や荒天等の場合、急遽取りやめることがあります。
 ・講師育成研修は上記と同じ日程で実施します。
 ・上記のほか、11月に東北大学との共催で研修を実施する計画です。

協力

★衛星通信機器	(株)NTTドコモ、KDDI(株)、スカパーJSAT(株)、ソフトバンク(株)
	(一財)移動無線センター
★業務用無線機	アイコム(株)、アルインコ(株)、(株)JVCケンウッド、(株)CSR、 モトローラ・ソリューションズ(株)、八重洲無線(株)

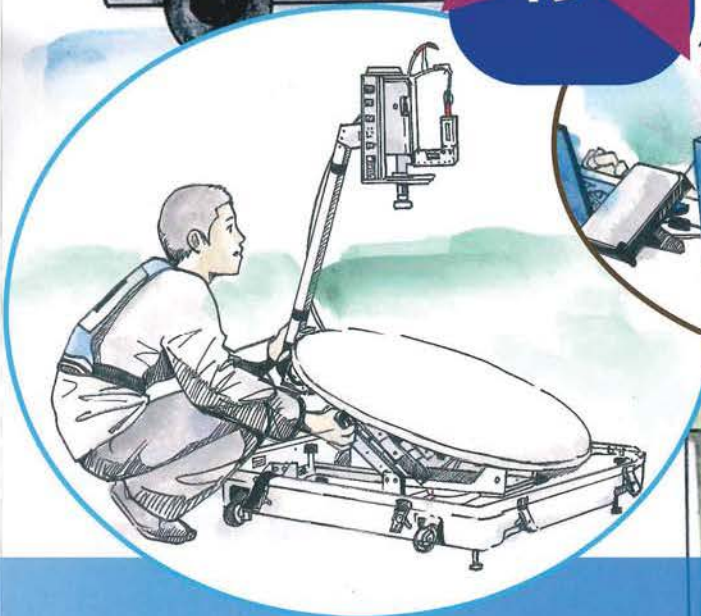
災害医療救護通信エキスパート育成協議会
 (Disaster Medical Relief Communication Expert Council)

DCOME(ディーカム)事務局
 公益財団法人日本無線協会
 〒104-0053 東京都中央区晴海3-3-3
 TEL 03-3533-5686
 URL www.nichimu.or.jp
 Email kikaku1@nichimu.or.jp



通信エキスパート研修

総務省「医療・救護活動等の非常用通信システムの適正な利用」人材育成事業



名称

「災害医療救護通信エキスパート育成協議会」

(Disaster Medical Relief Communication Expert Council)

略称：DCOME (ディーカム)

概要

災害医療救護通信エキスパート育成事業に係る研修・訓練等は、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害時において、国民の生命・身体を守るために行われる医療・救護活動を円滑に行うために必要とされる情報伝達的手段として使用される衛星携帯電話及び衛星データ通信をはじめとする各種無線機等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成し、災害医療・救護活動等の維持を図り、被災者の医療等の支援に寄与することを目的とする総務省事業として平成29年度より実施しています。

目指す姿

災害時の確実な非常用通信手段の使用

我が国全体として人的な災害対応能力の底上げ

人的能力の強化

非常用通信手段に関する研修・訓練・能力認定



国、地方公共団体、電気通信事業者、機器ベンダー、関係団体・学会の協力支援

- 訓練カリキュラムやマニュアル、教材等の策定
- 訓練用機材レンタル等

目標

受講区分	種別	受講時間	受講の主な内容	習得すべき目標
上級レベル (30名)	座学	1.5時間	<ul style="list-style-type: none"> ○非常災害時の通信確保の必要性・重要性 ○災害医療・救護活動において確保されるべき非常用通信手段に関するガイドライン ○非常通信手段の種類と特徴、メリット・デメリット ○電波法制、電波システムの適正利用 ○機器の管理方法等 	衛星データ通信機器等の設置・メンテナンス及び操作の指導ができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる高度な知識及び技能(主に衛星データ通信に特化した内容)を習得する。
	実技	6時間	<ul style="list-style-type: none"> ○衛星データ通信(VSAT等)の設置・操作、PCネット接続(Wi-Fiの設定を含む)及びアプリ操作(ログインまで) ○デジタル簡易無線の設定・通信操作 	
	能力認定試験	45分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、習熟度を試験によって確認(認定)	
標準レベル (20名)	座学	1.5時間	○上級レベルの内容についての基礎的知識	衛星携帯電話等の機器を適正に操作・使用できるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識及び技能(主に衛星携帯電話による音声を中心とした内容)を習得する。
	実技	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ○衛星携帯電話の設置・通信操作 ○衛星データ通信(可搬型)の操作、ネット接続(タブレット・スマホ) ○デジタルMCA無線、デジタル簡易無線の設定・通信操作 	
	能力認定試験	30分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、習熟度を試験によって確認(認定)	
オンライン研修	座学	随時	○gaccoASPを使用したオンライン研修教材(座学編・実技編)による基礎的知識	衛星携帯電話等と携帯電話等との違いを理解することができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる基礎的な知識を習得する。
	修了試験		○その理解度を試験によって確認(修了者には、修了証を付与) ※上級・標準レベルの予習・復習用としても活用	

◆ 講師育成研修：上級又は標準レベルの受講修了者を対象として選考いたします。一般募集は行いません。

上級及び標準レベルの能力認定者に付与される記章(ワッペン)

